

高校生以上の部 最優秀賞

静岡文化芸術大学 1年 太田 羽美さん



カードゲーム・自動販売機のUD

私たちにとって身近な存在である、カードゲームや自動販売機にたくさんのUDが取り込まれるようになり、多くの人にとって便利なものになったということを知ることができたためこの作品を作りました。左利きの人ではないと気づけない通常のトランプの不便さや、一番上の段に届かないことで感じる自動販売機の不便さなど、一部の人が感じる不便さについて知ってもらい、より多くの人々が便利だと思えるUDの存在が今の世の中には必要であると感じてほしいです。そして、この作品を通してUDってすごいと少しでも思ってもらいたいです。

【講評】「カードゲームのUD」と「自動販売機のUD」2つのアイテムについて、細かな点までよく観察し、体験を交えた独自の視点でわかりやすくまとめられたレポートです。全体の構成もよく考えられており、イラストの7配置やバランス、文字の大きさなどが工夫されていて、見やすく、完成度の高い優れた作品に仕上がっています。手書きの文字も丁寧に読みやすく、作品全体から誠実な取り組みが伝わってきました。

高校生以上の部 優秀賞

静岡文化芸術大学 1年 伊藤 舞香さん



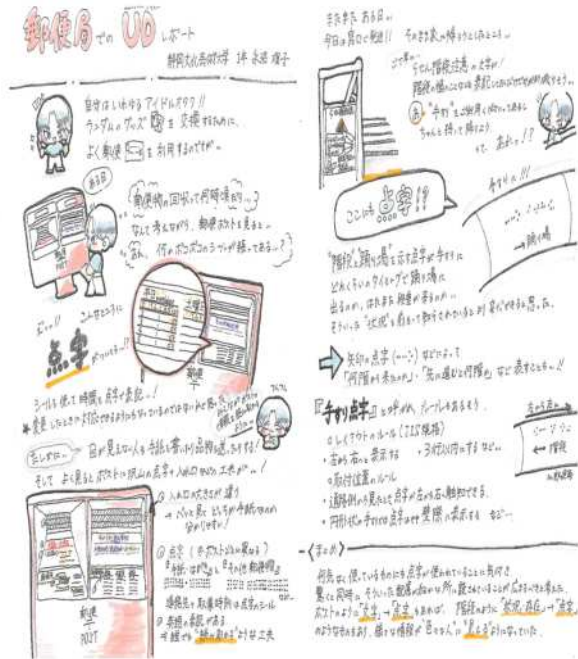
思いやりで機能するUD

実際に私が、満員のエレベーターに乗っていたとき、途中の階でベビーカーの方が待っていました。乗れず、自分が何もできなかった後悔からこの作品を作りました。インターネットで調べると、このような状況になったベビーカー、車椅子ユーザーは多くいるようでした。この作品で、自分たちにできることについて考えるきっかけとなれば幸いです。そして思いやりの気持ちが広がって欲しいと思います。

【講評】この作品は「心のUD(思いやり)」をテーマにした、唯一無二の素晴らしい作品です。手書きの絵にも温かみがあり、見る人の心を引き込む、完成度の高い仕上がりでした。最優秀賞も検討しましたが、今回は「発見」を重視するというコンテストの趣旨から、メッセージ性の強さがやや変化球的な印象となり、惜しくも優秀賞となりました。それでも、内容の深さや表現力はトップレベルであり、心に残る作品です。

高校生以上の部 優秀賞

静岡文化芸術大学 1年 永沼 理子さん



郵便局でみつけたUD

私がUDに出会った瞬間をありのままに描き、そこから知ったこと、学んだことを書き加えました。実際に郵便局で、ここにもこんなものがあるのか、意外と気がつかないところに設けられている点字に触れることができました。大学での授業もあったからこそ、今回普段は見えないようなところにも目を向けることができました。郵便局、ポストにも沢山の点字が存在し、こういった細かなデザインが多くの人を助けることになるかと改めて感じました。これを機に身近なUDをもっと見つけたいと思います。

【講評】 アイドルオタクとして郵便局に行く自分の視点で、移動しながらUDを発見！するストーリー仕立てのレポートは臨場感があり、親しみが持てます。絵が大きくて見やすいのですが、ラインを入れるなどして、もう少し見やすくするとよいでしょう。また、発見！の対象が点字のことが多く「点字があればUD」という印象が強いのが少し気になりました。点字を使っている人を発見したことはありますか？

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 1年 石田 楓奈さん



もっと広めるべき！自動販売機の多様性

街で見かける自動販売機の個性豊かな面に着目し、多くの人にとって使いやすく、利益をもたらすものを取り上げた。街中で誰もが使えるように設置されているため、自動販売機は使う人を選ぶものであってはならない。それにプラスしてこれからは 飲料販売に留まらない「情報発信」の機能を備えたものが普及していくと考えた。今回UDの視点で自動販売機を見つめてみて、バリエーションの豊かさが人々の暮らしもより良いものにしていく可能性を感じた。

【講評】 自動販売機についてレポートしたものは多くありましたが、この作品は3種類の自動販売機を取り上げ、それぞれの特徴を明示しています。イラストもきれいに描かれ、文章の初めの文字を大きくするなど、読みやすさの工夫もこらされており、レポートのお手本となる、完成度が高い作品です。

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 1年 高林 美優さん



洗濯に便利なUDと活用/案内サインをよりUD化

視覚障害者の方は洗濯物を干すときにどう工夫しているのか、気になって調べたら、「いちどにありがとう32」という片手で洗濯物が干せるアイテムを見つけた。そして、私たちが普段何気なくやっていることが実際には簡単にできない人もいるということにあらためて気づいた。案内サインのUDについては、浜松駅の案内サインを観察するなかで多言語表記や色分けなど、多くの工夫が見られた。また、オリジナルのアイデアとして、案内サインを地面から浮き出てるように見えるトリックアートのようなデザインを提案し、レポートをまとめた。

【講評】 自分の視点を通して、細やかによく調べられており、写真やイラストをうまく使って、わかりやすくまとめられています。吊り下げ式の「案内サイン」はUDといわれていますが、さらにその課題に触れ、探求して、新しいサインの在り方を提案しているところなど、読みごたえがあります。UDを探求する姿勢のお手本となるレポートだと感じます。

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 1年 田中 優花さん



車のユニバーサルデザイン/照明のユニバーサルデザイン

「車のユニバーサルデザイン」は自動車の免許を取得して日常的に運転するようになってから、自動車は多くの機能がわかりやすくアイコンで表示されていることや、座席やミラーを乗る人に合わせて調節できることに改めて気がつきました。「照明のユニバーサルデザイン」は身近すぎてあまり気にしたことがなかった照明を、このレポートを通して見つめ直してみても使う状況を考えて素敵な工夫が詰まっていると感じました。特にどの部屋にも同じ高さにスイッチがあることなど、暗くて見えないことをよく考えられているなと思います。

【講評】 「車のUD」と「照明のUD」、2つのアイテムに絞って探求しています。4コマ漫画やイラストを取り入れ、ラフな感じで親しみやすい雰囲気を作りつつ①②③と番号に従ってストーリーが流れ、最後に色背景になった部分に感想が書いてあり、言いたいことをまとめてあり、全体の内容をストレスなく理解できるように仕上げてあります。色使いもシンプルでわかりやすく効果的で、好感の持てるデザインです。

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 2年 出口 桃加さん



タブレットのUD5選&リモコンのUD~明るい・暗い~

私が日常で使用している物に焦点を当ててこの作品を作りました。作品を作る前から、大まかなUDポイントは認識していたものの、改めて細部まで調査してみると、新たな発見をすることができました。自分でも気づかないうちにたくさんのUDにお世話になっていることがわかりました。

また、発売時期の新しい製品ほど、UD機能が備わっていることを発見して、たった数年でより良い生活が送れるような状態になっていることを実感しました。

【講評】「タブレットのUD」と「リモコンのUD」、いずれも奥深いアイテムをテーマにし、ご自身の視点からよく観察して、分析し、レポートに細かくまとめています。タブレットを使って書いているので文字が少し潰れてしまっていますが、イラストや写真、背景色などに工夫をして、見やすさ、分かりやすさに配慮しつつ、膨大なボリュームの内容をレポートに仕上げたことに敬意を表します。

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 1年 中峰 美玲さん



UDレポート~駅の改札口の発見~

私は電車通学で、毎日通る改札口にふと目を向けてみると様々な工夫が施されていることに気づく。いつも何気なく通っていた改札口だが、障害の有無に関わらず使いやすい形や音などが使われており、その一つ一つの工夫が使う人を支えてくれているのだと考えた。しかし、そんな改札口でも左利きの人や外国人にとってはまだ使いづらい部分があるため、使う誰もが取りこぼされないようなデザインに、より進化していけたらいいと思う。今回、レポート制作を通して身近なものの沢山の工夫を発見することができ、身の回りのUDに気づくことができた。これからも沢山の工夫を発見していきたい。

【講評】「駅の改札口」をテーマに、よく観察し、考えてレポートにまとめています。フリースタイルのレイアウトで、文章も多いですが、イラストを上手に使い、説明の文章などの配置も適切です。○△×などの記号を使って、見る側にとってわかりやすくデザインされており、お手本となるレポートのひとつとして評価しました。

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 1年 山本 帆乃香さん



誤解される自動ドア/小さな合図、大きな安心

私が新幹線に乗っていた時、多目的トイレの前で赤ちゃん連れの方がドアの開け方が分からず、利用を諦めてしまう場面に出会いました。この状況を目の当たりにし、設備がいくら便利であっても、使い方が直感的に伝わらなければ本来の目的を果たせないことに気づかされました。そこで改めて、表示の仕方やデザインのどこが分かりにくいのか、なぜ誤解が生まれるのかという点に関心を持つようになりました。この作品が、普段何気なく使っているものの「わかりやすさ」や「使いやすさ」に目を向けるきっかけとなり、より多くの方が安心して利用できる環境について考える手助けになれば嬉しく思います。

【講評】「誤解される自動ドア」「小さな合図、大きな安心」、タイトルがとても興味深いです。いずれも、経験に基づいた説得力のあるレポートです。シンプルに、1つの大きなイラストと文字によるエッセイだけの構成ですが、とても分かりやすく仕上げられており、レポートのお手本のひとつとして評価しました。

高校生以上の部 入選

静岡文化芸術大学 1年 良知 ほのかさん



身近なUD/ゴミ箱・リサイクルBOXのUD

「身近なUD」は、誰もが1度は手にしたことがあるような、「身近なもの」をテーマにしました。「ゴミ箱・リサイクルBOXのUD」では、様々な「ゴミ箱・リサイクルBOX」に着目しました。「ゴミ箱」ひとつをとっても、本体の形・蓋の構造・分別方法の分かり易さ等、ユニークなものが多くあり、とても面白かったです。普段何気なく使用していたものも、じっくり観察したことで、UDをはじめとする沢山の工夫が詰まっていることに気付くことができ、温かい気持ちになりました。是非、身の回りのUDを探してみてください。

【講評】「身近なUD」、「ゴミ箱・リサイクルBOXのUD」、いずれも日ごろから、生活を細やかな視点で見ている作者だからこそ、ここまで深い内容のレポートが書けるのでしょう。このレポートを通して、多くの人に新たな気づきをたくさん提供していただいたことに感謝します。内容量が多いですが、イラストや写真などを丁寧に取り入れ、見る人にできるだけ伝わる工夫がされています。